

# 令和5年度 自己評価書

学校名 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

## 1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する  
 ○基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める  
 ○個性を生かし、豊かな自己実現を目指す  
 ○自然に親しみ、情操を豊かにする

## 2 本年度の重点目標

(1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。  
 (2) 確かな技術技能の定着を図り、一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。  
 (3) 学校生活・寮生活を通して、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。  
 (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己目標実現に取り組む姿勢を身につけさせる。  
 (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し実践や研修を推進する。

## 3 自己評価結果

分野	評価項目	達成状況	職員アンケート評価	職員アンケートR04	取組の適切さ	職員アンケート評価	職員アンケートR04	改善の方策
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	4.67	4.47	A	4.60	4.47	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価の活用</li> <li>カリネの視点に立った目標の理解</li> <li>職員研修の充実</li> <li>スクールポリシーの確立</li> </ul>
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	4.53	4.47	A	4.53	4.47	
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	4.67	4.67	A	4.53	4.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態を踏まえた教育課程の改善</li> <li>生徒アンケートの活用</li> <li>測定ツールの活用</li> <li>朝学習の充実</li> <li>授業研究の推進</li> <li>自己効力感の向上</li> </ul>
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	4.13	4.67	A	4.40	4.67	
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	4.47	4.47	A	4.47	4.67	
生徒指導	6 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	4.27	4.47	A	4.27	4.47	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮生活の点検と見直し</li> <li>スケジュール管理の指導</li> <li>危機管理体制の確立</li> <li>関係機関と連携した安全教育の推進</li> <li>教育相談体制の確立</li> <li>多様な背景の把握と情報共有</li> </ul>
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	4.27	4.60	A	4.47	4.60	
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	4.60	4.67	A	4.67	4.60	
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	4.67	4.67	A	4.53	4.67	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題予防的生徒指導への転換</li> <li>家庭、寮との緊密な連携</li> </ul>
学校行事 課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	4.53	4.73	A	4.53	4.67	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事と寮行事のバランス確認</li> <li>各種委員会活動の活性化</li> <li>寮生会活動の活性化</li> <li>リーダーを中心とした組織づくり</li> </ul>
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	4.33	4.67	A	4.47	4.67	
進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	4.47	4.27	A	4.47	4.40	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価ツールの活用</li> <li>先輩からの助言に基づいた指導</li> <li>意識醸成のための適時な情報提供</li> <li>インターンシップの活用</li> <li>異校種、産学連携の推進</li> <li>ICTを活用した進路相談体制の推</li> </ul>
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	4.47	4.40	A	4.40	4.40	
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	4.47	4.33	A	4.47	4.33	
健康安全 指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	4.53	4.67	A	4.47	4.67	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練の工夫改善</li> <li>安全教育の推進</li> <li>危機管理マニュアルの見直し</li> <li>感染症対策の一層の徹底</li> <li>教育相談後のフォローアップ体制の構築</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>
	16 生徒の生命 safety を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	4.47	4.93	A	4.53	4.93	
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	4.73	4.53	A	4.67	4.53	
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	4.60	4.73	A	4.80	4.80	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な校内研修の充実</li> <li>研修成果の還元</li> </ul>
組織運営・ 保護者、 地域住民 等との 連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	4.67	4.40	A	4.67	4.40	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内組織間の情報の共有化</li> <li>メンターによる初任者教員の指導</li> <li>PTA活動の充実</li> <li>HP等情報発信の工夫改善</li> <li>報道機関への情報提供</li> <li>広報活動の充実</li> <li>地域・保護者との連携の充実</li> <li>分掌業務の見直し</li> <li>働き方改革のより一層の推進</li> <li>部活動の年間計画見直しと改善</li> </ul>
	20 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	B	3.80	4.00	B	3.93	4.00	
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	4.53	4.47	A	4.40	4.53	
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	4.00	4.27	A	4.20	4.27	
	23 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	A	4.33	4.13	A	4.47	4.40	

※ 評価基準

A: 充分である=4以上 B: 概ね充分である=3.5以上 C: 不十分である=3.5未満 D: 改善を要する=3未満

## 4 次年度以降の目標設定に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

(1) 各重点目標の更なる推進。(分掌間の連携を大切に、互いにサポートする体制の構築)  
 (2) スピーディーで確実な実践に努める。(短期的視点での改善と長期的な視点での改善を見極め、改善を図る)  
 (3) 本校の特色ある取組を、保護者・地域の方々に様々な方法で発信する。(HP及びInstagram等SNSでの情報発信や報道機関をととした情報発信)  
 (4) 保護者、地域住民と連携した取組の推進に努める。(学校運営協議会の設立と村内各種機関との連携強化)